

ICT×地方創生
甲子園

グランプリ決定！

京丹後発！
JAPAN
CHALLENGER
AWARD 2021

【みらいのジュータロー賞】
山口由人さん
(聖学院高等学校：東京都)

【松本重太郎賞】
藤村幸澄さん
(京都府京丹後市)

～中学生起業家もゲスト出演～

令和3年11月19日
京丹後市

「ICT×地方創生甲子園」と「京丹後発！
JAPAN CHALLENGER AWARD 2021」の
2つのイベントを、デジタル庁、経済産業省近畿経
済産業局の後援を受け、またアサヒグループホール
ディングス株式会社様に特別協賛をいただきなが
ら、11月7日に京丹後市内で開催しました。



ICT×地方創生甲子園の様子



京丹後発！JAPAN CHALLENGER AWARD 2021 の様子

これは、京丹後の魅力や課題解決のため、全
国の若者から ICT 技術を活用した新たなビジネス
アイデアの提案を募り、起業・創業へとつなげていく
ための実践型プログラムの一環として実施。全国か
ら集まった高校生や起業家、さらに海外で活躍し
ている中学生起業家もゲスト出演しました。

ICT×地方創生甲子園

北海道から鹿児島まで、全国から応募のあった 109 チームの中から選ばれた高校生の 14 チームが出場。

提案いただいたビジネスアイデアは、市内事業者とのマッチングにより事業化を目指します。

グランプリ【みらいのジュータロー賞】



山口 由人さん

(聖学院高等学校：東京都)

「気候変動」や「LGBTQ」など、未成年が自ら課題発見・提起を行い、その解決のために企業と共創する際、サポートと橋渡しをする仕組みを構築するというもの。

これまで 40 社以上と共創してきたノウハウを生かし、京丹後市で実証実験を行いたい。

審査員コメント

- ◆ 社会の中で自らの理想を実現していくことを超えて、社会を巻き込んで自分達の理念を実現していく。協賛・協力企業の中に、自治体の名前はないが、ぜひこれから一緒になって連携させていただきたい。
- ◆ 地域の問題を地元の若手が解決するということは、双方にとってニーズがある大きな仕事だ。それを京丹後市で実証実験するということであり、どのように具体化するのか楽しみ。

※グランプリ以外の登壇者については「別紙 1」参照

ゲスト登壇者



井上美奈さん
(中学生起業家)



丸田大貴さん
(iU 情報経営イノベーション専門職大学 学生)

京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021

地域の課題や観光をテーマに、それらをビジネスで解決する「ソーシャルビジネスアイデア」について、7名の地域起業家が発表。

7名の出場者には大会終了後も継続して伴走支援し、起業に至るまで継続的にサポートします。

グランプリ【松本重太郎賞】



藤村 幸澄さん

(京都府京丹後市)

端末販売よりもスマートフォンの操作説明等を主体としたビジネスモデルを展開することを発表。大手キャリアでは真似できない、地域密着型のまちの携帯屋さんをつくりたい。

審査員コメント

- ◆携帯の販売店が抱えている悩みは北海道から沖縄まで同じで、これの課題解決ができれば携帯販売店の在り方を変えるかもしれない。
これをパッケージ化できれば、京丹後発で全国展開できる可能性がある。
- ◆京丹後市は都市部から距離があり、そのハンデが経済活動をするうえで、比較的ネックになっていた。ICT化が進み、それを活用していくことで、マイナスをゼロ、あるいはマイナスをプラスに持っていくことができるという意味で、ICTをどのように現地でカスタマイズしていくのがとても重要だと思う。「地方創生はひと」という意味で、藤村さんの熱意もすごかった。

※グランプリ以外の登壇者については「別紙 2」参照

審査員（市長除く）

No	氏名	所属	役職名
1	藤野 英人	レオス・キャピタルワークス株式会社	代表取締役会長兼社長
2	柳澤 大輔	面白法人カヤック	代表取締役 CEO
3	美濃 和男	株式会社WOW WORLD	代表取締役社長
4	中村 伊知哉	iU 情報経営イノベーション専門職大学	学長
5	平野 卓	株式会社日進製作所	代表取締役社長
6	田中 孝幸	〃	総務部長
7	池田 香代子	京丹後(宿)おかみさんの会	座長

当日の様子を YouTube で公開中！

<https://www.youtube.com/channel/UC08oTVw7JOy-dnZtFXoBEOQ>

[問い合わせ先]

京丹後市商工観光部商工振興課

担当:小石原、金木

TEL 0772-69-0440/FAX 0772-72-2030

ICT×地方創生甲子園 登壇者

佐久間 奎吾さん（専修大学附属高等学校）

修学旅行客を京丹後に集客することで、将来的に子供たちに京丹後を勧めたいと思う町にする。

新美 陸人さん（武蔵野大学附属千代田高等学院）

廃墟を観光地化してしまう「逆張りの地方創生」を提案。サバイバルゲーム×廃墟でマニアの心をグッと引き込む。

藤井 一磨さん、比留間 光弘さん（埼玉県立所沢中央高等学校）

京丹後オリジナルのプリント T シャツを作成し、京丹後以外の場所で京丹後の PR ができるシステムを構築。
また、SNS を掛け合わせて、京丹後の魅力を外の人たちにも知ってもらう。

吉井 滉さん（大手前高松高等学校）

リアルタイムでお店の営業状況がわかるボタンで Twitter に自動更新。手軽にできてお店も顧客もハッピーに。

柴田 花菜さん（秋田県立平成高等学校）

多国籍グルメイベントで京丹後の外国人と日本人を集める SNS グループを作成し、将来的には日本在住外国人向けアプリの制作を考えている。

佐々木 啓佑さん、小崎 航平さん、古谷 友吾さん（和歌山県立日高高等学校中津分校）

紀州備長炭を製作する過程で商品にならないサイズの炭が発生する。その炭を活用して京丹後の枝豆を焙煎して販売する。それらを SNS などを利用し発信する事で、全国に取り組みが知れ渡る仕組みを作る。

井庭 晴香さん、南部 優実さん（慶應義塾湘南藤沢高等部）

大学生向けの地方留学プログラムの提供。まちのコイン制度を利用し、まちへのボランティアを実施しながら、京丹後のいいところを知ってもらう。SDGs を絡めた新しいプログラム提供を考案。

伊勢 桃菜さん、高木 碧花さん、宮内 杏海さん（千葉県立銚子商業高等学校）

銚子の観光ルートをアプリで提案。将来的に銚子でとれた魚が取って食べられるような「体験型飲食店」を考案している。

溝口 琳香さん（東京都立多摩高等学校）

誰にも邪魔されずに過ごせる自分だけの一部屋を提供。
空き家やマンションなどの空きスペースを利用して、一人になりたい人のための部屋を貸し出すビジネス。

高橋 広斗さん（東京都立多摩高等学校）

伝説が残る立岩で鬼ごっこをしながら町のためのボランティア活動を実施するツアーの企画提案。
まちのコイン×本気のアソビで京丹後を盛り上げる。

川田 かなさん（筑波大学附属坂戸高等学校）、星加 拓海さん（屋久島おおぞら高等学校）

自販機より安く、好きな量を、好きな時に学生水を飲めるように学校や駅にウォーターサーバーを置くビジネス。

井上 愛結さん、小倉 七海さん、坂本 祐亜さん、野村 諒太さん、人羅 海留さん、山中 莉彩さん （京都府立丹後緑風高等学校 網野学舎）

京丹後自慢をぎゅっと集めたマップアプリ！みんなの投稿で京丹後のいいところがすぐにわかる！

折戸 志帆さん、近藤 ことはさん、鈴木 怜菜さん、高山 桃子さん、西山 爽太さん （京都府立清新高等学校）

たんごちりめんの新しいギフトの形。京丹後名物を全国へ！ホテルのアメニティー利用で家族層を取り込む。

京丹後発！ JAPAN CHALLENGER AWARD 2021

浅川 遼太郎さん（大阪府）

日の出「京丹後発！和製スマートシティー」

外装が竹でできた電動キックボードを京丹後に展開し、新しい移動の形を提供。

小島 怜さん（京都府京丹後市）

OYAOYA「おいしい！を耕そう。」

京丹後でできた規格外野菜を乾燥させ、乾燥野菜チップスとして販売する。

福崎 智子さん（鹿児島県）

「まちの小さなハローワークで全ての働きたいに応える！」

自身の経験から、短時間でも働ける労働者と一定の期間仕事を手伝って欲しい事業者とを繋ぐ事業を提案。

鈴木 秀顕さん（栃木県）

一般社団法人社会デザイン協会「SDGs スクール・プロジェクト京丹後」

既存の教育手法への疑問、及び公平性が失われた学習の是正を目指し動いているプロジェクトを京丹後に提案。

これからの時代を担う子どもたちが自主的に活動ができる機会を提供。

安田 大輝さん（神奈川県）

SendoYa「地元に戻れば帰るほど喜ばれるアナタになるマッチングサービス Guild」

地元に戻りたくても帰れない人たちが気軽に帰って来れるようなシステムを提案。

クエストという形で、色々なイベントや仕事を地元でできる。

野木 久聖さん（京都府京丹後市）

野木源「SDGs 未来都市京丹後 究極の地産地消モデル～これで移住者を取り込め！～」

丹後らしい丹後半農半 X モデルを展開。

①丹生 style 半農+半遊びで丹後良さを余すことなく堪能する

②丹生 system 京都北部版 Oisix。地産地消ミールキットサービスの展開